

令和 6 年度若年技能者人材育成支援等事業実施状況 (令和 6 年 1 1 月 3 0 日現在)

I 令和 6 年度における事業の実施状況等

1 地域における技能振興事業の実施

(1) 技能五輪全国大会予選の実施

当事業での実施対象となる「技能検定の 2 級実技課題により予選を実施することとされていない職種」のうち、西洋料理、電気、プラスチック金型職種について予選会の募集を行い、応募があったプラスチック金型職種の予選会を 2 月に実施予定です。

(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会に参加する選手に対して、中小企業や工業高校等の参加選手とその指導者の参加旅費及び道具等の運搬費の援助を行います。

- ・第 18 回若年者ものづくり競技大会（群馬県）

開催期間 令和 6 年 8 月 1 日（火）～ 2 日（水）

援助 選手 2 人 随行者 2 人 合計 4 人

- ・第 62 回技能五輪全国大会（愛知県）

開催期間 令和 6 年 1 1 月 22 日（金）～ 25 日（月）

支援対象選手 24 人（参加選手は 30 名）

(3) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

中央技能振興センターが示す編集方針に沿って、令和 6 年度の被表彰者 3 人に対して取材などを行いその結果を中央技能振興センターへ報告します。

令和 6 年度卓越した技能者（現代の名工）被表彰者 3 人

	職 種	氏 名	所 属
1	建築大工	福島 正雄	福島工務店
2	内装、表具	井上 和夫	有限会社井上表具店
3	和生菓子製造	石川 忠久	和生菓子豆の木

(4) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

厚生労働省の方針により、令和 4 年度より両事業とも新規認定申請の受付が休止となったため、過去に認定を受けた事業者からの認定内容の変更・廃止等の相談対応等を行っています。

2 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務等について

(1) ものづくりマイスターの開拓

ものづくりマイスターの企業・業界団体の訪問や、技能検定試験の受検企業・団体への案内等により、派遣先の拡大と併せてものづくりマイスターの候補者にかかる掘り起こしを行いました。

受付期間 第 1 回 5 月 20 日（月）～ 6 月 7 日（金）

第 2 回 8 月 19 日（月）～ 9 月 6 日（金）

第 3 回 11 月 11 日（月）～ 11 月 29 日（金）

第 2 回までの認定者数で目標の 8 人を上回る 9 人が認定、第 3 回においても 12 人を申請しました。

【ものづくりマイスター認定者数（第 2 回まで）】

登録実人員 7 職種 9 人

〔登録延べ人員 9 人：建築大工 1 人、工場板金 1 人、プラスチック成形 1 人、建築板金 2 人、

左官2人、表装1人、内装仕上げ施工1人]

【ものづくりマスター (+DX) 認定者数 (第2回まで)】

登録実人員 0人

【ものづくりマイスター (IT部門) 認定者数】

登録実人員 0人

(2) ものづくりマイスターへの説明

新たに認定されたものづくりマイスターのうち該当者に対して、実技指導等にあたる前に、指導技法等講習を受講する必要がある旨を周知します。

(3) 申請書類等の取りまとめ

認定申請を行う者に対して申請書類の確認を行うなど円滑な事務処理の実施を支援し、認定申請書類を取りまとめて中央技能振興センターに提出しました。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

ア ものづくりマイスターに対して指導技法等講習の実施

新たに認定されたものづくりマイスターに対して、該当者には指導技法等講習を個別に実施を予定しています。

イ 中央技能振興センター主催研修会等への派遣

・ものづくりマイスター職種別事例発表・意見交換会

WEB会議方式により実施されました。

実施日 令和6年 9月17日(火) 機械検査職種 参加者1人

3 ものづくりマイスターの活用に係る業務

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

相談窓口を設置し、若年技能者の人材育成に係る取組方法、実技指導等の相談・援助並びにものづくりマイスターの派遣のコーディネート等を行っています。

ア コーディネータによる案内・相談

イ 広報

(ア) 当コーナーホームページへの掲載：随時

(イ) 埼玉県協会会報に掲載：年2回発行

(ウ) 当コーナーで作成した企業向けリーフレット「若手の技能をスキルアップ！」

・主な配布先：協会会員、検定実施企業、社員向け研修会受講者等

(エ) メールマガジン

埼玉県から配信されるメールマガジンへの掲載による周知

・シニア活躍推進宣言企業あて

認定企業数3, 397団体 うち建設業475社、製造業941社 (令和6年10月現在)

担当課：人材活躍支援課

・多様な働き方実践企業あて

認定企業数4, 114団体 うち建設業676社、製造業638社 (令和6年10月現在)

担当課：多様な働き方推進課

・経営革新計画承認企業あて

承認企業数12, 056団体 うちメルマガ登録は約4, 000団体 (令和6年6月現在)

担当課：産業支援課

- ・彩の国工場指定企業あて

指定企業数 690社　うち645社あて（令和6年10月現在）

担当課：産業創造課

- ・SAITEC メールマガジン

約1,700社あて（令和6年11月現在）

担当課：産業技術総合センター

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

ア 中小企業、業界団体及び工業高校等への派遣

企業、業界団体や専門高校からの要請を受けて、ものづくりマイスターを派遣し、指導を実施しています。なお、今年度より技能五輪全国大会参加選手への派遣指導が可能となり、選手に対する派遣は延べ268人日実施となりました。

(ア) 派遣先

中小企業等への派遣・・・11件

教育訓練機関への派遣・・・13校（専門高校12、大学1）

進修館高校、いずみ高校、大宮工業高校、児玉高校、川越工業高校、熊谷工業高校、熊谷農業高校、春日部工業高校、浦和工業高校、三郷工業技術高校、杉戸農業高校、川口工業高校、ものづくり大学

(イ) 派遣職種・・・13職種

造園、機械加工、機械検査、電子機器組立て、冷凍空気調和機器施工、建築大工、鉄筋施工、配管、型枠施工、とび、婦人子供服製造、電気機器組立て、左官

(ウ) 受講者数　ものづくりマイスター　延べ 2,990人日

〔	中小企業等	延べ	603人日	〕
	教育訓練機関	延べ	2,387人日	

（11月末現在）

イ 不特定多数の者への指導

(ア) 「オンラインで体験！親子ものづくりフェア」の開催

小学生を対象に、ものづくりの魅力や楽しさをオンラインで体験する実技指導を実施しました。参加者には体験キットを送付し、技能士が実演する YouTube 動画をオンラインで見ながら作品製作に挑戦してもらいました。

夏休み期間中に開催し、令和6年度は洋菓子のコースを追加するとともに、一部コースの定員増により、全体の定員を240人から350人に拡充しました。

開催期間　令和6年8月10日（土）～8月31日（土）

実施内容　ものづくり体験　7コース　定員　計350人

ものづくりマイスター関連（6コース）

①小さい木のイス（建築大工）、②消しゴムはんこ（印章彫刻）、

③2Way ポケットケース（婦人子供服製造）、④置き畳（畳製作）、

⑤タイルコースター（タイル張り）、⑥チョコレートサラミ（洋菓子）

熟練技能者関連（1コース）

⑦フラワー壁飾り（フラワー装飾）

申込者数　1,535人（うち、マイスター関連1441人、熟練技能者関連94人）

参加者数　　350人（うち、マイスター関連300人、熟練技能者関連50人）

(イ) 「おおみや盆栽春まつり」におけるものづくり体験イベントの実施

さいたま市主催の「おおみや盆栽春まつり」に出展し、イベント来場者を対象に、ものづくり体験の実技指導を実施しました。

開催日 令和6年5月3日(金)

会場 大宮氷川神社参道

実施内容 ものづくり体験 1コース 畳コースター(畳製作)

参加者数 83人

(ウ) 「県庁オープンデー」におけるものづくり体験イベントの実施

埼玉県主催の「県庁オープンデー」に埼玉県技能士会連合会と協力して出展し、イベント来場者を対象に、ものづくり体験の実技指導を実施しました。

開催日 令和6年11月14日(木)

会場 埼玉県庁

実施内容 ものづくり体験 8コース 鋳物キャラクター文鎮、銅板レリーフ、木工品の製作(ミニ道具箱)、畳コースター・畳ストラップ、からくり屏風、だるまペイント、フラワー壁飾り、立体模型(多面体)工作

参加者数 500人

(エ) 「彩の国総合技能展」におけるものづくり体験イベントの実施

埼玉県・埼玉県職業能力開発協会主催の「彩の国総合技能展」に出展し、イベント来場者を対象に、ものづくり体験の実技指導を実施予定です。

開催日 令和7年2月8日(土) 9日(日)

会場 ふれあいキューブ

実施内容 ものづくり体験 1コース 畳コースター(畳製作)

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

ア 地域若者サポートステーションにおける体験教室の実施

地域若者サポートステーションからの要請に基づき、ものづくりマイスターを派遣し、ものづくり体験等を行う予定です。

(ア) 派遣先 大宮若者サポートステーション

(イ) 日時 令和7年1月22日(水) 午後1時30分から4時

(ウ) 派遣職種 印章彫刻

(エ) 受講者数 10人程度

イ 小学校における体験教室の実施

小学校でのものづくり体験教室を埼玉県技能士会連合会と協力して小鹿野町立小鹿野小学校、狭山市立新狭山小学校で実施しました。また1月に久喜市立栗橋小学校での実施を予定しています。

	日時	派遣職種	受講者数
小鹿野町立 小鹿野小学校	令和6年9月19日(木) 午後1時から3時30分	鋳物、印章彫刻、建築大工、建築板金、 畳製作、表具内装、洋裁、塗装、石材、 タイル煉瓦、フラワー装飾、日本料理	139名
狭山市立 新狭山小学校	令和6年10月11日(金) 午前9時30分から12時	鋳物、建築大工、建築板金、畳製作、表 具内装、洋裁、塗装、石材、タイル煉瓦、	116名

		フラワー装飾、造園	
久喜市立 栗橋小学校	令和7年1月27日(月) 午後1時から3時30分	建築大工、建築板金、畳製作、塗装、 フラワー装飾	110名 予定

(4) 熟練技能者等による派遣指導の実施

ものづくりマイスター制度の対象となっていない職種において、熟練技能者の派遣による実技指導を実施するとともに、不特定多数の者への指導を実施しています。今年度から、専門学校への派遣指導が対象に明記されたことに伴い、テクノホルティ園芸専門学校への派遣が新たに増えました。

ア 熟練技能者の派遣による実技指導

(ア) 派遣先

教育訓練機関への派遣・・・10校

川越総合高校、羽生実業高校、筑波大学附属坂戸高校、杉戸農業高校、熊谷農業高校、
鳩ヶ谷高校、川越工業高校、いずみ高校、児玉高校、テクノホルティ園芸専門学校

(イ) 派遣職種・・・4職種

フラワー装飾、園芸装飾、化学分析、着付け

(ウ) 受講者数 延べ1373人日(11月末現在)

イ 不特定多数の者への指導

(ア) 「オンラインで体験！親子ものづくりフェア」の開催【再掲】

小学生を対象に、ものづくりの魅力や楽しさをオンラインで体験する実技指導を実施しました。参加者には体験キットを送付し、技能士が実演するYouTube動画をオンラインで見ながら作品製作に挑戦してもらいました。

開催期間 令和6年8月10日(土)～8月31日(土)

実施内容 ものづくり体験 7コース 定員 計350人

ものづくりマイスター関連(6コース)

①小さい木のイス(建築大工)、②消しゴムはんこ(印章彫刻)、

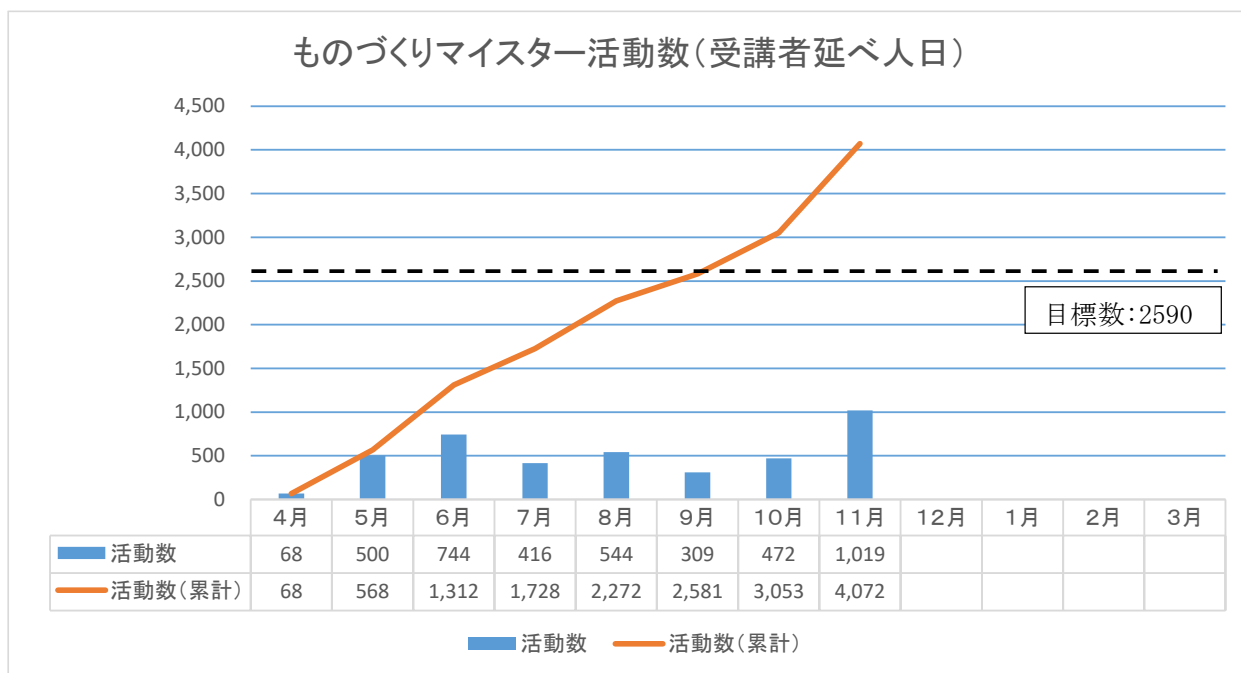
③2Wayポケットケース(婦人子供服製造)、④置き畳(畳製作)、

⑤タイルコースター(タイル張り)、⑥チョコレートサラミ(洋菓子)

熟練技能者関連(1コース)

⑦フラワー壁飾り(フラワー装飾)

参加者数 350人(うち、熟練技能者関連50人)



4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

連携会議を年2回開催し、効率的、効果的な事業の実施に向け、埼玉県、埼玉労働局、経済団体、ものづくり関係団体等との連携の強化を図ります。

日程	第1回	令和6年	6月19日(水)	オンラインにて開催
	第2回	令和6年12月	19日(木)	オンラインにて開催

Ⅱ 次年度に向けた改善事項等

次年度について、事業受託できた際には次の改善事項等について取り組みます。

1 ものづくりマイスター等の掘り起こし

今年度は埼玉県技能士会連合会との協同によるものづくり体験教室を通じて、多くの技能士の方がものづくりマイスター認定登録いただけた。次年度もさらに本連携会議の構成団体との連携を深めて、特級および1級技能士取得者対し、ものづくりマイスター制度の普及啓発を務めるとともに、特に派遣ニーズの高い機械加工職種については、技能検定受検事業所を中心にものづくりマイスター登録派遣を理解いただくよう普及啓発に努め、ものづくりマイスター等の掘り起こしをします。

2 ものづくりマイスターの派遣先の開拓

これまで派遣要望のない学校、企業等に対し、派遣先の開拓を行っていきます。

協会会員、技能検定受検事業所等への周知を引き続き行う他、本連携会議の構成団体とも連携して、チラシ配布、メールマガジン、会議等の場での説明などの普及啓発を実施したいと考えています。

なお、今年度はものづくり体験教室のイベントの拡大に加え、技能五輪全国大会参加選手への派遣指導、専門学校への指導派遣が追加されたことで事業費が不足し、派遣指導の一部で制限をかけることとなった。そのため次年度は、幅広く派遣指導が行き渡るよう、予算のバランスや支出の対象範囲にも注意して実施していきたい。

3 前回会議でいただいた意見について

前回の会議で出された以下の意見については、ものづくり体験教室の開催時だけでなく、本連携会議の構成団体とも連携してよい方法を引き続き考えていきます。

- ・高等技術専門校のイベント会場としての活用
- ・現代の名工の紹介コンテンツの小中学校等への紹介
- ・技能五輪全国大会の入賞者の母校凱旋などによる紹介